

Go Red for Women Japan

健康セミナー2026
赤をまとい女性の心臓病を考える

開催報告書

2026年8月17日

 **メディカルクオール株式会社**



健康セミナー2026開催概要

2023年3月、日本循環器協会（JCA）はAHAと協定を締結し、「Go Red for Women®」活動を日本でも展開

2024年2月2日 東京大学鉄門記念講堂にて初回開催 250名参加

2025年2月8日 東京大学安田講堂、2月22日 梅田スカイビルで開催 740名参加

2026年2月7日 一橋大学一橋講堂、2月21日 梅田スカイビルの2会場で開催 549名参加



東京会場
一橋大学 一橋講堂

雪が舞う寒い天候



大阪会場
梅田スカイビル

快晴の穏やかな天候

赤をまとい女性の心臓病を考える in東京

※Go Red for Women®は6月に National Wear Red Day®はAHAの登録商標です。

Program

總合
要目

13:00~13:10

北星大學 國際衛生學院

第I部
講演

罰金

13:10~13:40

東北大学 循環器内科

塚田(哲翁)弥生

日本医科大学／武蔵小村病院 総合診療科

第Ⅲ部
パネルディスカッション

野合

14:10~14:50

日本医科大学／監修小杉病院 総合診療科

吉林大学 鍾麗麗內科

東京大学大学院農学系研究所 農学教育センター

東京理科大学 豊田 隆弘

元プロテニスプレーヤー／テニス指導者

14:50~15:00

日本看護協会代表理事／国際医療福祉大学教授
東京大学 名誉教授

ご協力いただいたスポンサー様
(順不同)



安藤証券 ANDO

OMRON

KAGOME

Alnylam

東京海上日動
あんしん生命

TOCLO

東京女子医科大学

Abbott

ALEXION
Pharmaceuticals

VIATRIS

Astell

CareNet

CSL

eyeo

日本郵政グループ
ゆうまろ

住友化学工業株式会社

Boehringer-Ingelheim
Pharmaceuticals (Japan) Ltd.

ご寄付いただいた皆様 (順不同)

- ・ 株式会社 三菱UFJ銀行 (9999971000)
- ・ 東京 聖路
- ・ 東京特定非営利活動法人 健康ライフステージン・バンク (99999999)
- ・ PDRファーマー 株式会社 (99999999)
- ・ 株式会社ジェイ・エム・エス・エス (99999999)
- ・ 株式会社三井物産 (99999999)



赤をまとい 女性 の心臓病を 考える in東京

Go Red for Women Japan 健康セミナー2025

日時

2026年2月7日(土)
13:00~15:00

会場

一橋大学 一橋講堂
〒162-8601 東京都文京区千石1-7

主催 日本循環器協会
後援 厚生労働省 日本循環器学会 日本循環器看護学会 日本心臓財団 日本AED財団



日本循環器協会
本日はご参加いただきありがとうございます。ご参加いただいた皆様へ、アフターケアとしてお礼の手紙を送らせて頂きます。お礼の手紙にご返信をお願いいたします。



(表紙)

赤をまとい女性の心臓病を考える in大阪

Program

合会
總司



第I部
講演

司會

A photograph of three women standing on a stage, all wearing red dresses. The woman in the center is wearing a large, strapless, floor-length gown. The woman on the left is wearing a red dress with a wide collar and a gold sash. The woman on the right is wearing a red dress with a high slit. They are all smiling and looking towards the camera.

特別イベント

第Ⅱ部
パネルディスカッション



司會



司會



三宅 洋子

(敬称略)



日本循環器協会代表理事／国際医療福祉大学教授
東京大学 名誉教授

(表紙)

申込者数 事前申し込み 791名

		東京会場	大阪会場	全体
計		473	318	791
性別	女性	355	288	643
	男性	112	27	139
	回答しない	6	3	9
年代	19歳以下	4	0	4
	20歳代	19	4	23
	30歳代	26	14	40
	40歳代	84	34	118
	50歳代	177	80	257
	60歳代	115	120	235
	70歳以上	37	50	87
	回答しない	3	4	7
どこで知ったか	SNS	58	15	73
	HP	64	16	80
	ポスター	32	34	66
	チラシ	73	138	211
	ニュースメール	45	23	68
	口コミ	60	12	72
	他	309	175	484

東京会場	大阪会場
100%	100%
75%	91%
24%	8%
1%	1%
1%	0%
4%	1%
5%	4%
18%	11%
37%	25%
24%	38%
8%	16%
1%	1%
12%	5%
14%	5%
7%	11%
15%	43%
10%	7%
13%	4%
65%	55%

二重登録を除いた正味申込者数

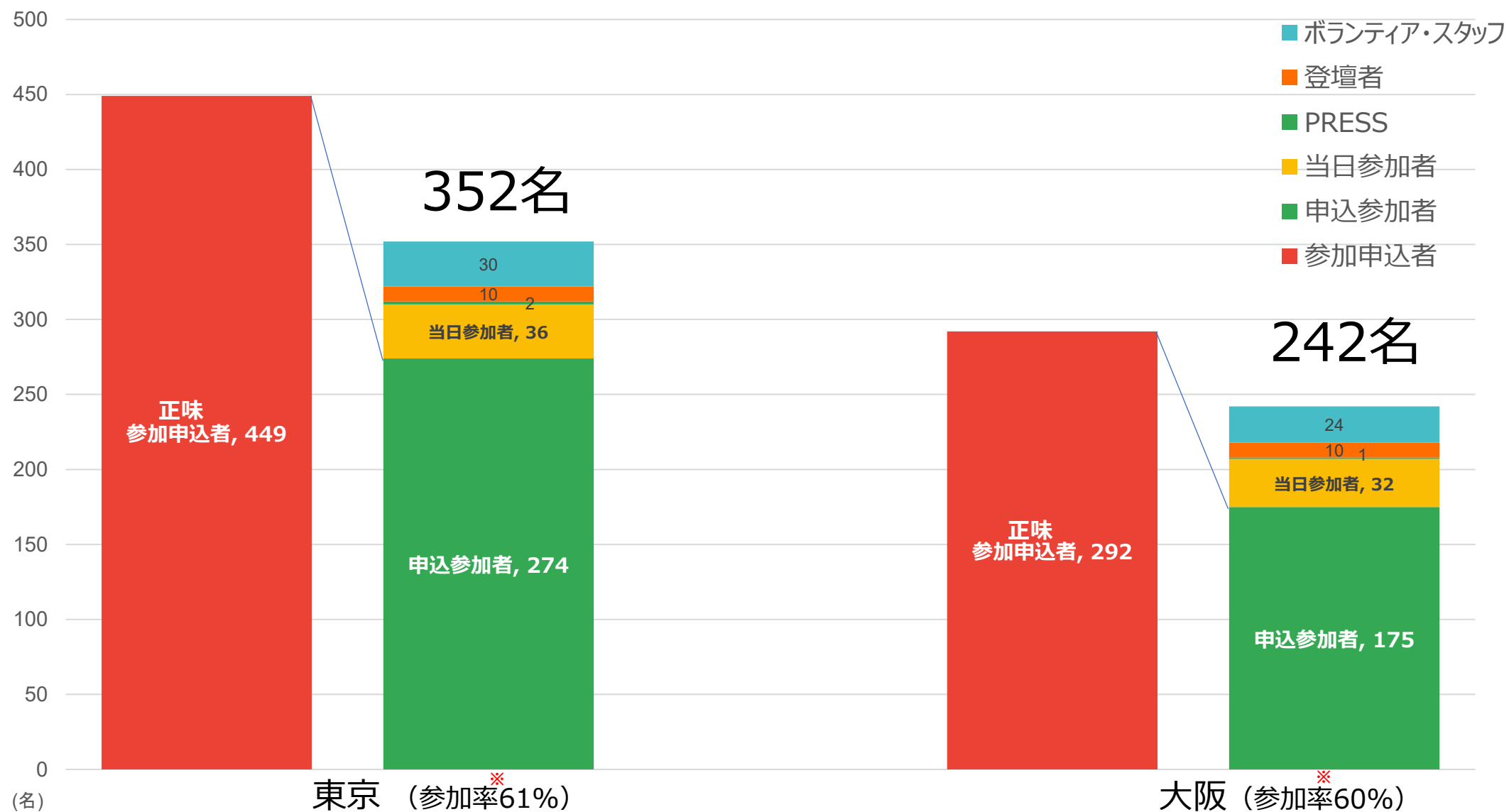
449

292

741

申込者数・参加者数

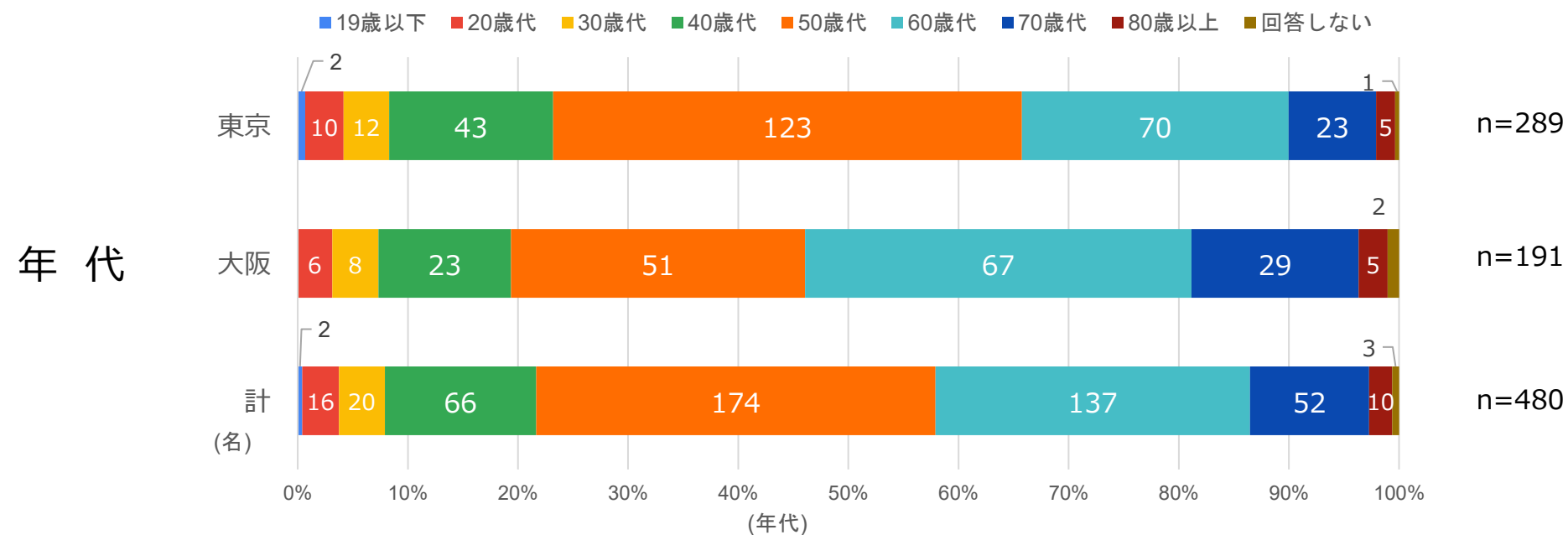
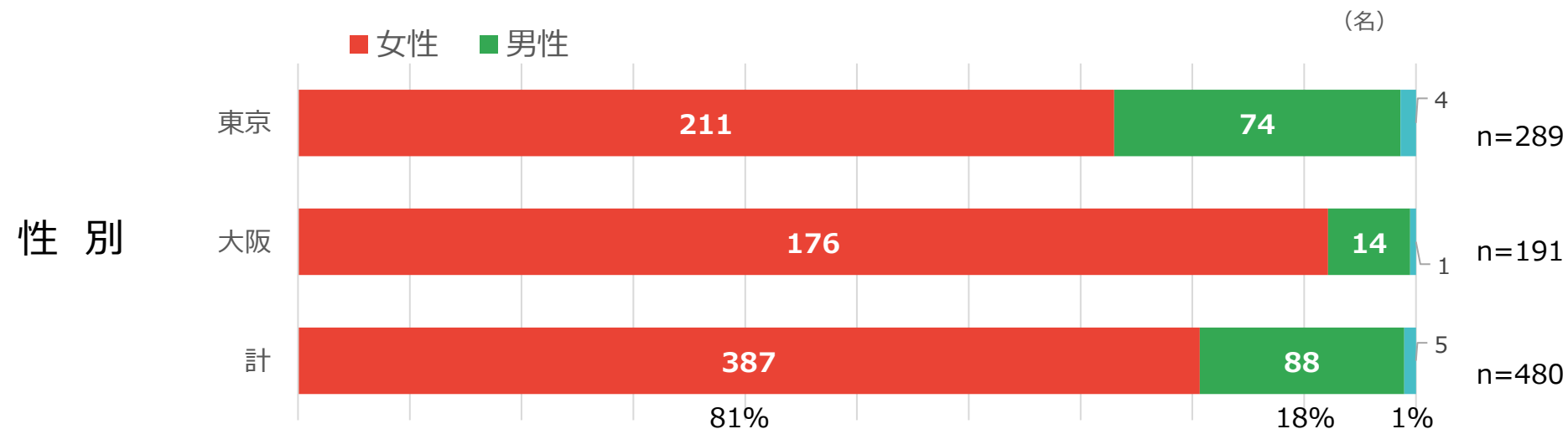
東京352名 大阪242名 計594名出席



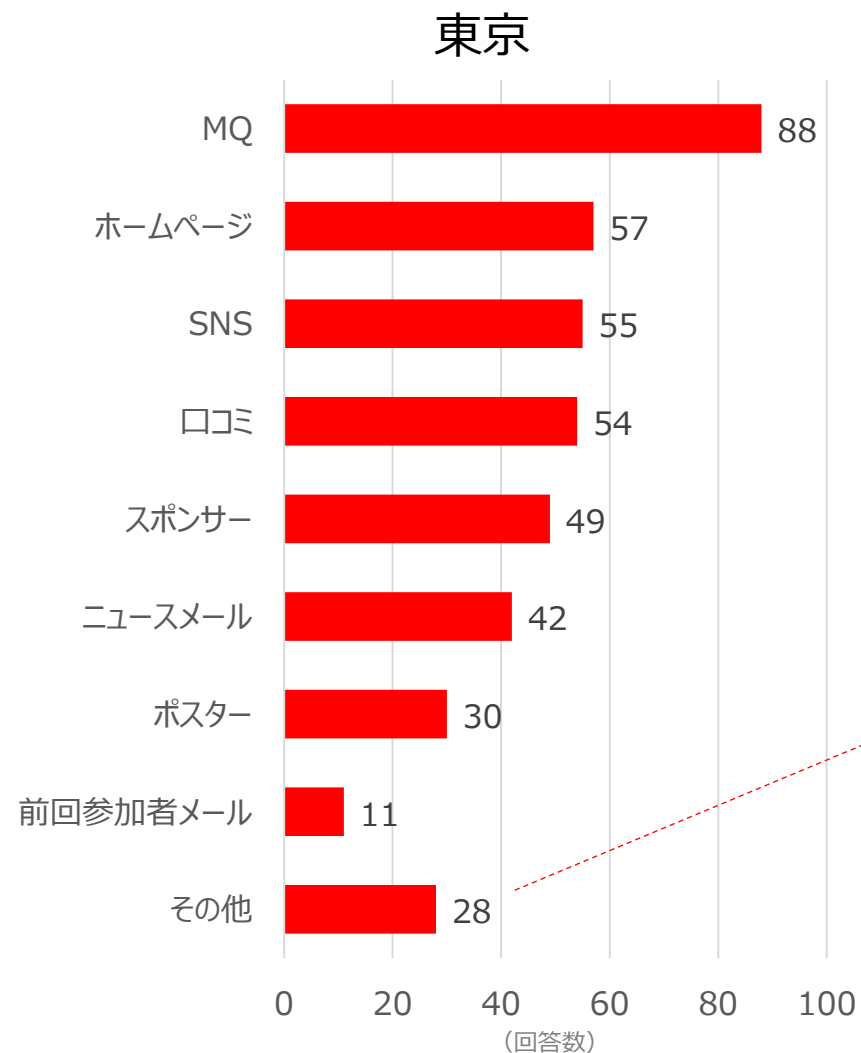
※ 参加率 = 申込済みの参加者 / 正味参加申込者

参加者の属性

属性が把握できた方だけの集計



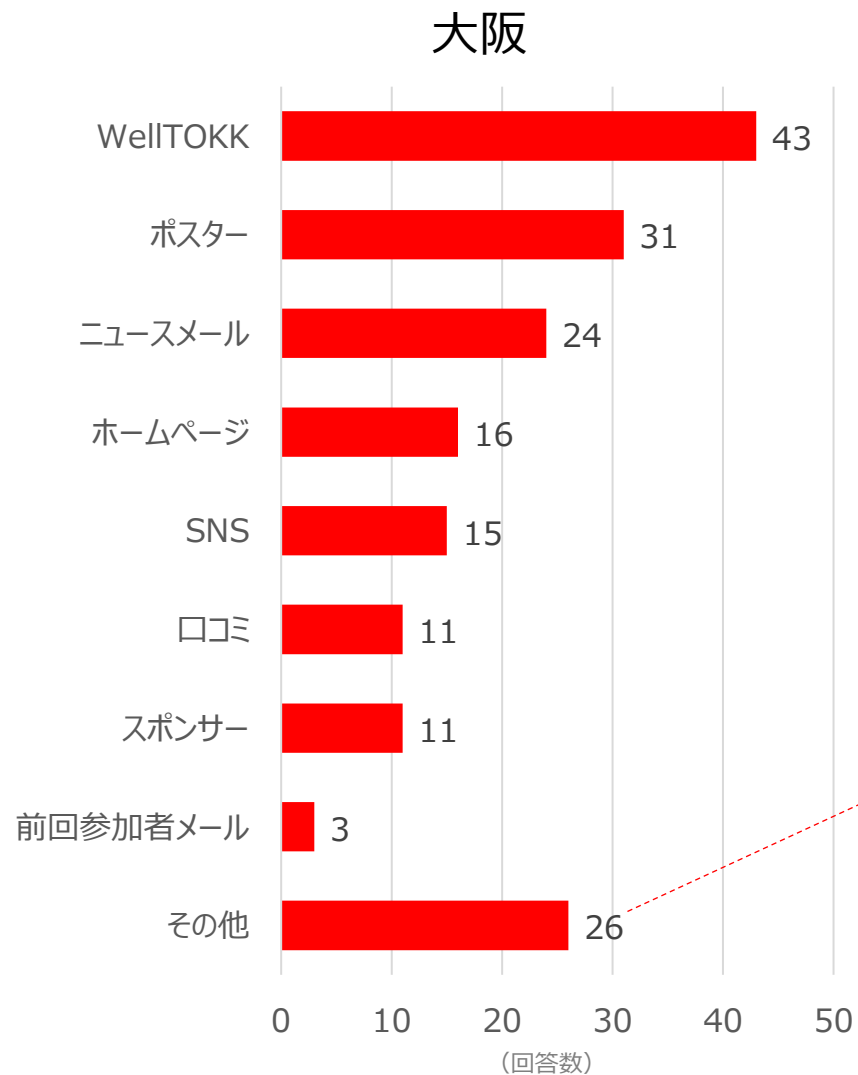
セミナーをどこで知ったか 東京会場 (複数回答)



その他の内訳

産経新聞	3
日本循環器協会	3
性差医療学会	3
心臓病の子供を守る会	3
新聞	2
心臓弁膜症ネットワーク	2
天尾先生から	2
瀧原先生から	1
東條先生から	1
坂東先生から	1
神吉先生から	1
坂東先生塚田先生	1
赤澤先生から	1
抗加齢医学会	1
東京都理学療法士協会	1
関東中央病院	1
DM	1

セミナーをどこで知ったか 大阪会場 (複数回答)



その他の内訳

産経新聞	5
VOICE	5
瀧原先生から	4
日本循環器協会	2
新聞	2
神吉先生から	2
坂東先生から	1
岸先生から	1
ホームページ	1
茨木市役所	1
性差医療学会	1
MQ	1

スポンサー・寄付

ご協力いただいたスポンサー様 (順不同)

AstraZeneca 

安藤証券 

OMRON

KAGOME

 Alnylam
PHARMACEUTICALS

 東京海上日動
あんしん生命

 Abbott

ALEXION
AstraZeneca Rare Disease

 VIATRIS

 zel
フオール

CareNet

TOCALO

明治安田総合研究所

CSL

DyDo こことからだに、
おいしいものを。

自然と健康を科学する
ツムラ

 Boehringer
Ingelheim Life forward

Boston
Scientific
Advancing science for life™

ご寄付をいただいた皆さま (順不同)

株式会社 三菱UFJ銀行様 (東京都千代田区)

細萱 聖様

認定特定非営利活動法人 健康ラボステーション様 (大阪市中央区)

広告掲載協力: 阪急阪神ホールディングス株式会社様

PDRファーマ 株式会社様 (東京都中央区)

株式会社ジェイ・エム・エス様 (広島県広島市)

興和株式会社様 (愛知県名古屋市)

スポンサープレスリリース



広報

PRTIMES

カスリス・ニュース・イベント・PR TIMES

プレスリリースを登録 企業登録申請 ログイン

トップ | サービス | モバイル | アプリ | エンタメ | ニュース | フォト | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

一般社団法人日本循環器協会

会社概要 プレスリリース ストリー

フォロー

【参加無料】 女性の死因第2位である心臓病を予防したい！「Go Red for Women Japan健康セミナー2026：赤をまとい女性の心臓病を考える」

【東京会場は杉山登山さんが登場】 2026年2月7日（土）13:00～15:00～協賛場【大阪会場は赤い衣装でのランウェイあり】 2026年2月21日（土）13:00～15:00梅田スカイビルスペース36L

一般社団法人日本循環器協会 2026年1月14日 16時10分

公開セミナー | 参加無料

Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

赤をまとい女性の心臓病を考える

東京 2026年2月7日（土）13:00～15:00 協賛場 12:30 一橋大学 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

大阪 2026年2月21日（土）13:00～15:00 協賛場 12:30 梅田スカイビルスペース36L 大阪市北区大淀中1-1-88 TOWER WEST 36F

主催 日本循環器協会 後援 厚生労働省 大阪府 大阪府 日本循環器協会 日本循環器協会 日本心臓財団 日本AHA財団

東京と大阪の2会場で開催

一般社団法人日本循環器協会（以下、日本循環器協会）は、女性の心臓病啓発活動「Go Red for Women Japan健康セミナー2026：赤をまとい女性の心臓病を考える」を開催いたします。

「Go Red for Women®」は、女性の死因第1位である心臓病の予防を目的として、21年前にAHA（以下、AHA）が開始した啓発活動です。毎年2月の第1金曜日を「National Wear Red®（赤をまとう記念日）」に定め、イベントを通じて心臓病に関する知識を広めています。日本では心臓病が女性の死因第2位を占めますが、女性の病状というイメージが診断の遅れを招きます。女性に多い心臓病は女性特有の疾患（狭心症、心不全、心臓コリドール、冠動脈性心臓病など）の低い認知度、女性では非典型的な症状のために診断が遅れがち、閉経後に増加する高血圧や脂質異常症、高齢女性で重症化しやすい心不全、AED救命率の低さ、健診受診率の低さ、などが日本でも女性を取り巻く課題となっています。

この現状を受け、日本循環器協会はAHAと正式に協賛のもと、2023年から「Go Red for Women Japan」を開始し、毎年2月に健康セミナーを開催しています。2024年350名、2025年800名と回を重ねるごとに多くの一般市民の方に参加いただき、多くの関心を集めています。

今回、東京会場には元プロテニスプレーヤーの杉山登山さんを特別ゲストにお迎えし、大阪では京都きものPR大使の皆さんにランウェイを舞っていただくことになっております。心臓病の予防法を楽しく学べるよう、主催者一同、皆様のご参加をお待ちしております。

参加費は無料です。ぜひ、赤いなかを身にまいてご参加ください。当イベントは事前登録制です。現在参加登録を受付中です。Go Red for Women®ならびにNational Wear Red Day®はAHAの登録商標です。

イベントホームページ https://prtr-13.circ-assoc.or.jp/event/seminar_2026/

PRTIMES
1/14投稿

参加の様子（2025年2月6日、東京大学豊田講堂）

Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

赤をまとい女性の心臓病を考える in東京

Go Red for Women®とは

Program

開会のあいさつ

基調講演

第1部 講演

女性に多い「見過し不整脈」

一人ひとりの違いに寄り添う

開会のあいさつ

協賛会場

第1部 パネルディスカッション

女性に多い「見過し不整脈」

一人ひとりの違いに寄り添う

開会のあいさつ

Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

赤をまとい女性の心臓病を考える in大阪

Go Red for Women®とは

Program

開会のあいさつ

基調講演

第1部 講演

女性に多い「見過し不整脈」

一人ひとりの違いに寄り添う

開会のあいさつ

協賛会場

第1部 パネルディスカッション

女性に多い「見過し不整脈」

一人ひとりの違いに寄り添う

開会のあいさつ

2026年2月21日のプログラム（仮定）

Peatix

イベント検索 イベントを作成 ログイン 新規登録

3/15(日)締切「Peatix コミュニティアワード」エントリー受付中!

公開セミナー | 参加無料

Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

赤をまとい女性の心臓病を考える in東京

日時 2026年2月7日（土）13:00～15:00（開場12:30）

会場 一橋大学 一橋講堂 千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

2月7日【東京開催】 Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

【土】13:00 | 千代田区一ツ橋2丁目1-2 学術総合センター 2F | By Go Red for Women Japan 健康セミナー2026

メディカル/ヘルスケア 医療 健康 病と生きる 介護 リハビリテーション

「Go Red for Women®」は米国心臓協会（AHA）啓発活動です。米国ではこの活動の一環として毎年2月（赤をまとう記念日）」に指定し、心臓病啓発イベントは、昨年に続きAHAのサポートのもと、Go Red for 2026「赤をまとい女性の心臓病を考える」を開催し、Go Red for Women®ならびにNational Wear Red Day®はAHAの登録商標です。

お申込みはこちらから

日時 2026年2月7日（土）13:00～15:00（開場12:30）

会場 一橋大学 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター内）

（Google Map）

プログラム 第一部 講演

当日 日時 2026/2/7（土）13:00 - 15:00 GMT+09:00 カレンダーに追加

場所 一橋講堂 千代田区一ツ橋2丁目1-2 学術総合センター 2F 会場を見る

12

広報・パブリシティー

■ 新聞折り込みチラシ 時期：1月25日（日）

範囲：九段下駅周辺3.2km
朝日、読売、日経、毎日、産経、東京
部数：39,300部 24万円



■ 新聞折り込みチラシ 時期：2月1日（日）

範囲：目黒区周辺3.2km
朝日、読売、日経、産経
部数：29,700部 22万円

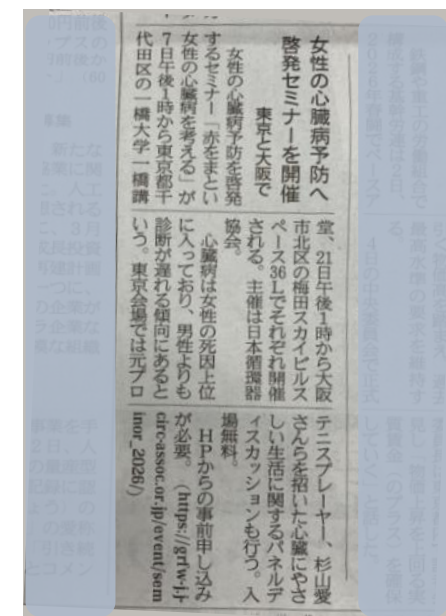


■ Well TOKK 秋号（9月） 冬号（1月）表4に掲載



瀧原先生のご尽力

■ 産経新聞 2月3日 朝刊に記事掲載



印刷物ほかの作成

初回チラシ



第1弾案内状



第2弾案内状



A1サイズポスター



SNS投稿用素材



当日配布プログラム

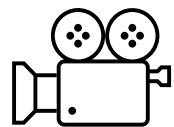


その他

■ スタッフ用ジャンパーの作成



■ 動画撮影・参加者インタビュー



Go Red for Women Japan活動啓発動画
制作用に参加者インタビューを実施

■ 大阪会場 手荷物用ビニールバッグの配布



開催当日の様子

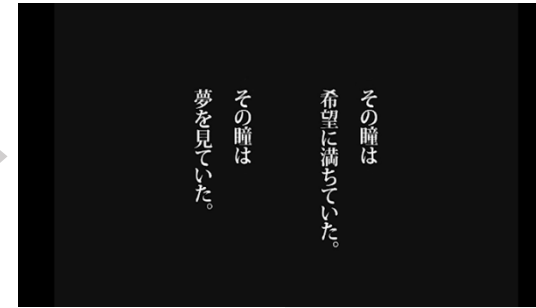
開演前ループ動画



日本循環器協会



日本循環器協会（すわん君）



日本心臓財団



日本AED財団



健康ハート・ライトアップ



安藤証券



アストラゼネカ

展示

日本循環器協会



カゴメ



オムロンヘルスケア



参加者への配布資材



日本循環器協会



カゴメ



オムロンヘルスケア



安藤証券



明治安田研究所



あんしん生命



Alnylam



トーカ

(略称)

社名	配布資材
日本循環器協会	COCORO VOICE 14
日本循環器協会	循環器病アドバイザー受講者募集チラシ
カゴメ×オムロンヘルスケア	カゴメとオムロンが応援！トマトジュースと血圧計で健康習慣をはじめよう！
オムロンヘルスケア	どれを選べばいいの？心電計 脳梗塞リスクが5倍になる 不整脈の一種「心房細動」とは
安藤証券	会社紹介
明治安田生命	冊子 循環器病で倒れないために(心不全編)
東京海上日動あんしん生命保険	冊子 8疾病ガイドBOOK
アルナイラム	冊子 会社紹介 RNAi治療薬紹介
トーカ (大阪のみ)	会社紹介

参加者へのお土産



AHAより
GoRedピンバッジ



クリアファイル



カゴメ



ツムラ



クオール



(略称)

会場風景 in東京



一橋大学一橋講堂



講堂入口



受付



会場全景



Photo Spot



会場風景 in東京



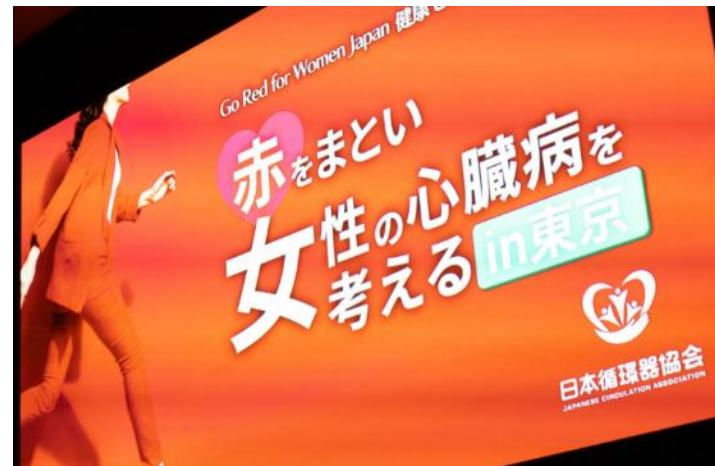
総司会 眞茅先生



会場内



アナウンス 高橋先生



オープニングスライド



特製バナー・パネル

会場風景 in東京



開会あいさつ 東條先生



第 I 部講演 副島先生



第 I 部司会 桑原先生



第 I 部講演 塚田（哲翁）先生

会場風景 in東京

Ⅱ 部パネルディスカッション



司会 石津先生



杉山 愛様



体操の紹介



天尾先生



副島先生



中野先生



塚田(哲翁)先生

会場風景 in東京



閉会あいさつ 小室先生



登壇者の記念撮影



参加者全員での記念撮影

会場風景 in大阪



梅田スカイビル



会場内風景



ドレスコード用の赤い布

会場風景 in大阪



受付



入口でのお迎え



Photo Spot



コートなど手荷物用にビニールバッグを用意



日本循環器協会展示

会場風景 in大阪



総合司会 岸先生



開会あいさつ 東條先生



第 I 部司会 瀧原先生



第 I 部講演 安田先生



第 I 部講演 副島先生

会場風景 in大阪

Wear Red Japan Runway



会場風景 in大阪

Ⅱ部パネルディスカッション



司会 坂東先生



副島先生



神吉先生



司会 尾上先生



安田先生



神永様

会場風景 in大阪



閉会あいさつ 小室先生



全員で記念撮影

開催後

取材記事

明日の臨床に生きるアカデミックな情報

新規会員登録

ケアネットライブ配信予定

医師人気ランキング

週間ランキング

男性の性機能障害、3つのリスク因子とは？
増大
医師一般 日本産エビデンス

肥満性夜間呼吸へのボノプラザン、5年間の安全性は？ (VISION...
医師一般 日本産エビデンス

130mmol/L未満の低HbA1c血症、積極矯正vs標準ケア
医師一般

脳卒中管理で非専門医が押さえておきたい重要ポイントとは？「脳...
医師一般

腰部を刺されて、妊娠した女性
Dr. 倉部 尚子 先生

更年期症状のほてりや動悸、心血管リスクのアラートに／日本循環器協会

提供元：ケアネット

公開日：2026/02/18

日本循環器協会が主催するGo Red for Women Japan健康セミナー「赤をまとい女性の心臓病を考えるin東京」が2月7日に一橋大学の講堂で開催された。今回で3回目を迎える本イベントは、循環器疾患の診断・治療における性差などを患者自身が学ぶための機会として、米国心臓協会（AHA）のサポートのもとで行われている。今回、副島 京子氏（杏林大学 循環器内科）と塚田（哲翁）弥生氏（日本医科大学武蔵小杉病院 総合診療科）が心疾患好発年齢の女性らに向け、受診が必要な症状などについて解説した。

心房細動の早期発見、健診の30秒に頼るのは限界

現在、日本人において100万人超の患者が存在するとされる心房細動（AF）。医療者にとってはおなじみの疾患であっても、患者への認知度はいまだに低い。AFのリスク因子として、とくに女性では高血圧や弁膜症、男性では冠動脈疾患、心筋梗塞の既往などが挙げられるが、AFに特異的かつ典型的な症状ではないことから、患者側の発見の遅れが医療者側の診断・治療の遅れにもつながるため課題となっている。

2/18 CareNet様 取材記事を掲載

催された本セミナーにおいて、副島氏は「い、正しく知る」と題して講演。同氏は女性摘し、「胸の違和感、息切れ、だるさなど更我慢強いことが影響している可能性がある」と更年期障害の症状は共通することが多い）がある場合には心房細動を疑ってもよい。カテーテルアブレーションの実施率が少ない悪化する前に受診してほしい」と訴えた。

しても「健診は1年分の30秒、そこで異常をAFが出現する可能性がある」とし、家庭でスマートウォッチの活用）の実践を促した。スルーせずに受診につなげてほしい。因子の治療、A：脳梗塞・血栓予防、R：症評価）1）を医師のみならず、看護師や薬剤師も活用してほしい」と訴えた。

り添う循環器病のケア」と題し、心血管疾患列挙。ほてりや動悸は更年期障害特有の症状

とされ一過性のものと判断される傾向にあるが、「このような血管運動神経症状（VMS）はVascular SOS²）であるため、症状を我慢するのではなく「血管のメンテナンスを始める合図」と捉え、症状が強い場合には内科などを受診してほしい」と述べ、「更年期症状は将来の心血管疾患リスクの氷山の一角に過ぎない」と指摘した。

- ・座り過ぎは「中断」（Break the Sit）
- ・誰かと歩く（フレイル予防）
- ・家事や庭いじり

される女性患者像>

も、ほてりや動悸が強い

症候群、妊娠糖尿病、早産、死産を経験

（病）

群（PCOS）の既往

の曲がり角」といわれ、とくに日本人女性の場合には、健康寿命と平

12年間の「寝たきり」リスクを伴うとされる。そのため、50歳以

りを見るのと同じように、健康診断の検査結果をチェックしてほし

ず、自分自身を過信しないほしい」と強調した。一方で、女性の

対効果が高い点にも触れ、「女性の場合は少ない運動量で大きな予

計150分程度の中強度運動で冠動脈疾患リスク低下も昨年に報告され

運動が続かない患者でも効果的にリスク低下につながる方法を以

法>

由は決して患者個人のせいだけではなく、生活環境が要因であ
るからになっている。同氏は「世界的に歩きやすい街づくりが求
街に住む人は高血圧や糖尿病、肥満リスクが低い傾向があるこ
トした。Take home messageとして「（CVDの）サインを見
数値を知る、プラス10分のウォーキング、筋肉を守る、この4
スの似合う女性を目指してほしい」と締めくくった。

とは

心臓病が女性の最大の死因であることを多くの人に知ってもら

から始めた女性の循環器疾患の予防・啓発のための活動であ

の2本柱を中心に、毎年2月第1週金曜日に赤い何かを身に付け

ている。この活動が今では世界50カ国以上に広がっており、

中心となり2024年よりこの活動がスタートした。今回は上記2

パネルディスカッションには元テニスプレーヤーの杉山 愛

り上げた。なお、今年も東京会場のほかに大阪・梅田スカイビ

に開催されている。

55

art J. 2024;45:3314-3414.

016;11:e0157417.

Res. 2025;4:1539-1549.

4) Makhlof MHE, et al. Curr Probl Cardiol. 2023;48:101533.

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）

参加者アンケート

3方法で依頼

1.



会場での依頼

当日

2.



配布プログラム裏面への記載

当日以降

3. 翌月曜日に御礼とアンケート回答依頼をメール送信

翌月曜日以降

(欠席者を含む参加登録者に送信)

■ 東京会場

- 回答期間 2/7~2/24
- 回答数 97件
(当日回答 4件)

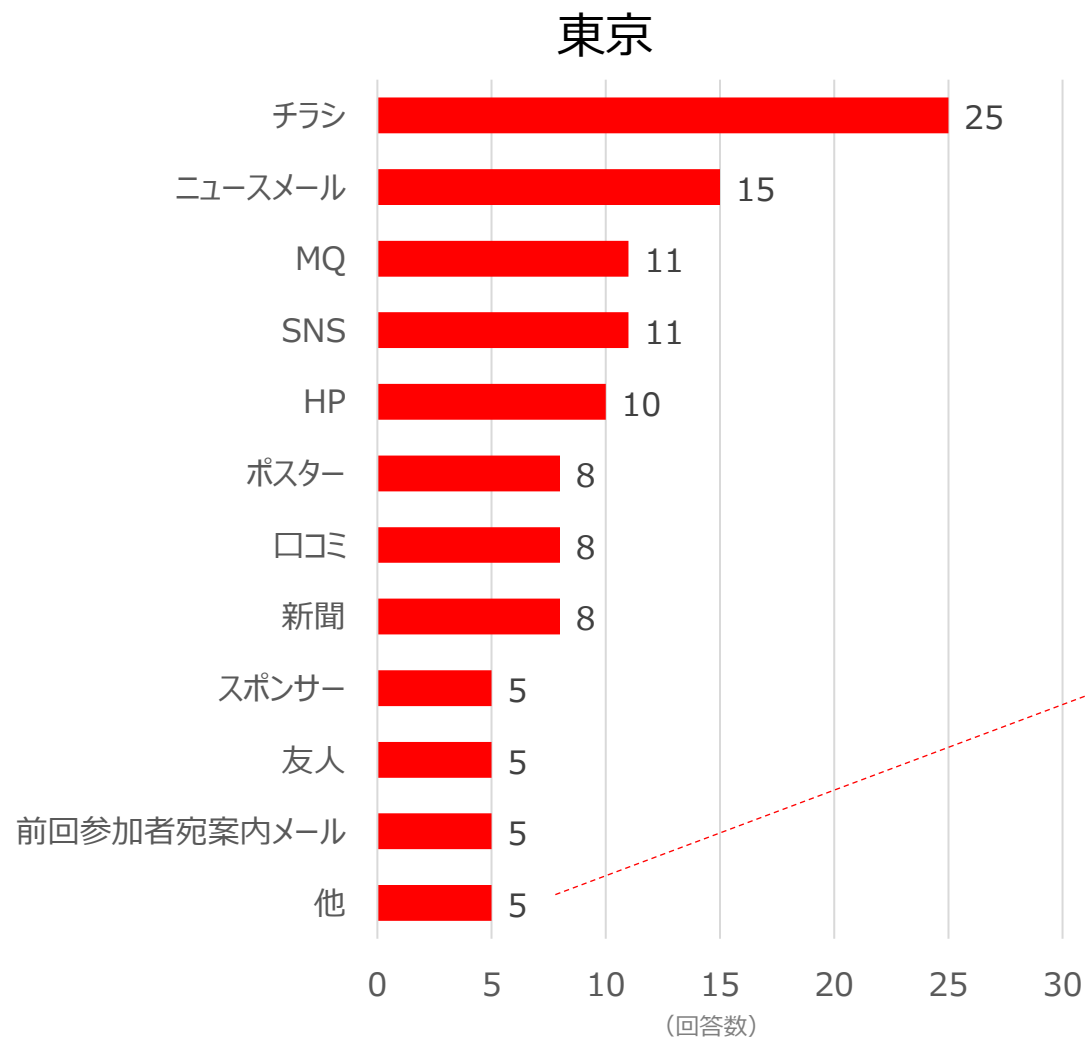
■ 大阪会場

- 回答期間 2/21~3/9
- 回答数 100件
(当日回答 34件)

参加者アンケート質問内容 東京12問・大阪13問

健康セミナーに参加されましたでしょうか？	
どのような経緯で今回の健康セミナーに参加登録されましたか？ 紹介者がいらっしゃった場合はその他にご記入ください。（複数回答可）	
今回の健康セミナーの感想をお聞かせください	
健康セミナーの中で参考になったテーマをお聞かせください （複数選択可能）	
ファッションショーはいかがでしたか？	大阪のみ
特に良かった点やお気づきの点がございましたらお教えてください。	
健康セミナーの開催日時について 現在、土曜午後1時の開催としております。ご希望の時間帯についてお伺いします	
次回、聞きたいテーマがあればお教えてください	
健康セミナーに著名人ゲストの参加も計画しています。 具体的なお名前や領域（スポーツ選手、タレント）などがあればお教えてください	
Go Red の「赤」は女性の心臓病をもっと知ってもらうためのイメージカラーです。 「赤いものを身に着けて参加する」について、難しいな、と感じましたか？	
受付に赤の布（ポケットチーフにしてもらったり、バッグや手首に巻いてもらう）などを設置しました。 利用されましたか？	
来年もこの健康セミナーに参加されたいですか？	
あなた様は日本循環器協会の循環器アドバイザーの方でしょうか？	

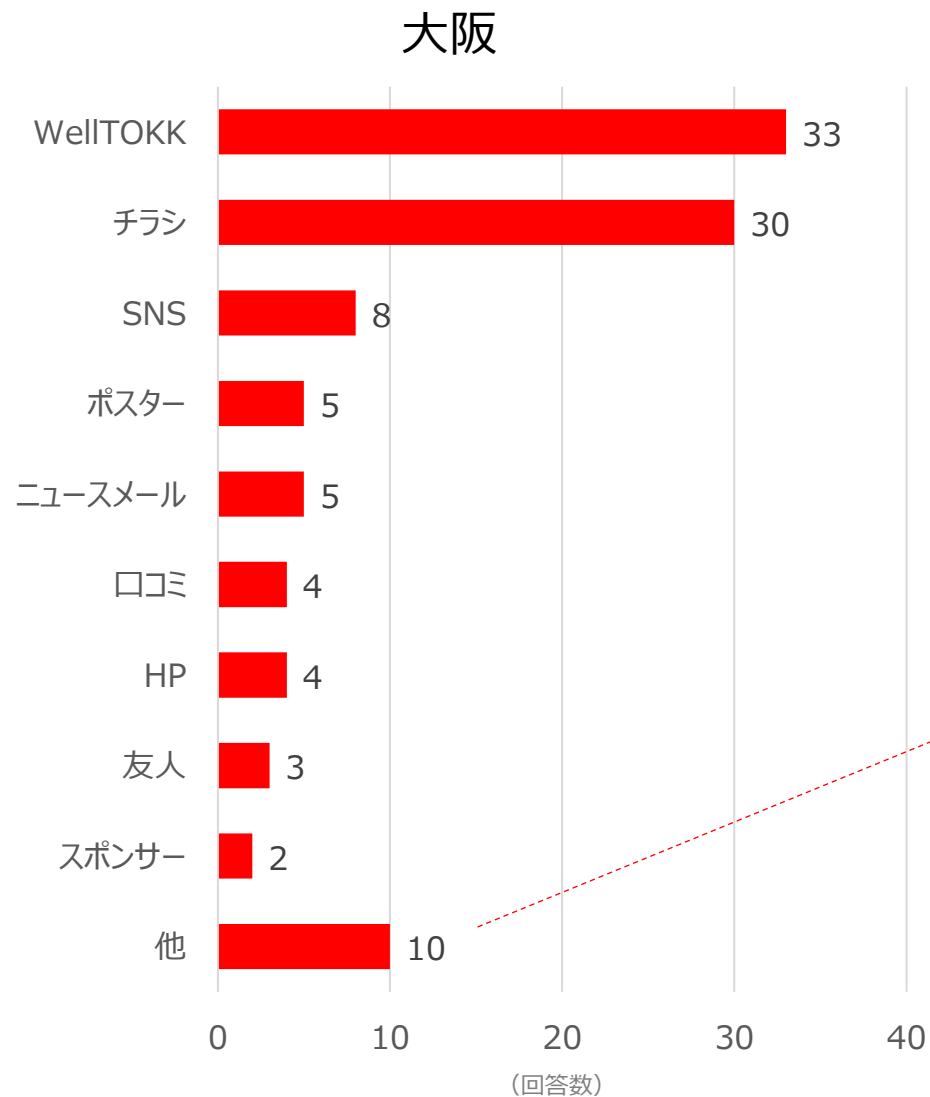
参加者アンケート どのような経緯で参加登録されましたか 東京会場 (複数回答)



その他の内訳

リハビリ通院先の紹介	1
健康総合宮本様	1
赤澤先生から	1
中野先生から	1
塚田先生のラジオ番組で	1

参加者アンケート どのような経緯で参加登録されましたか 東京会場 (複数回答)

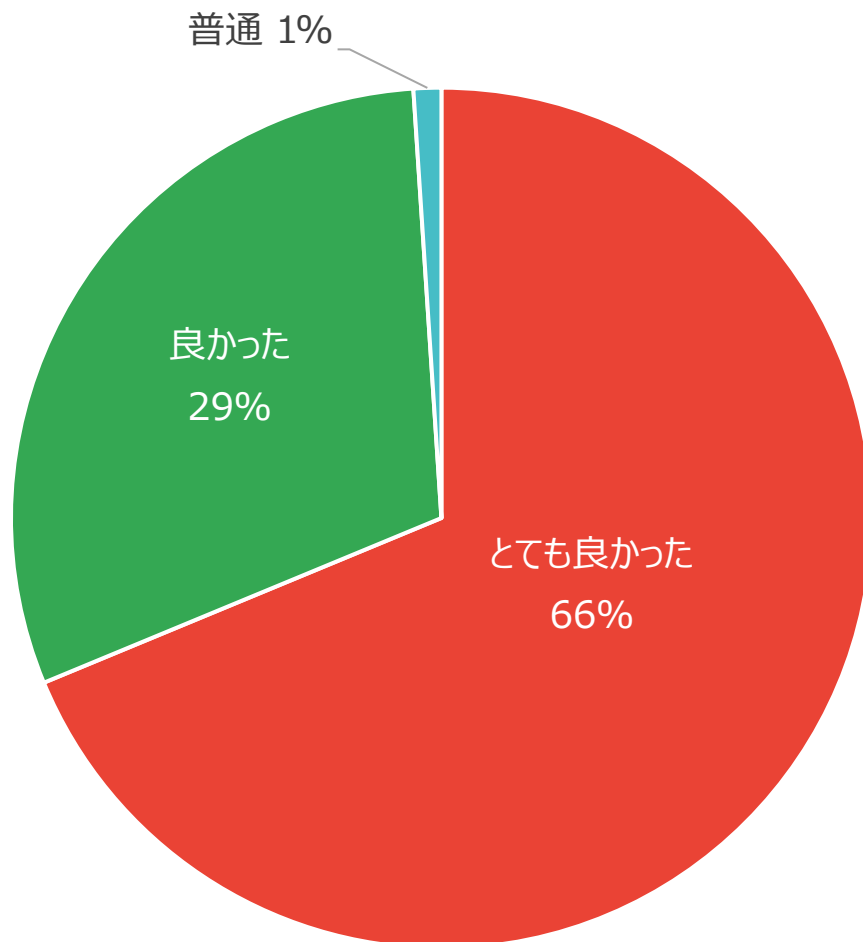


その他の内訳

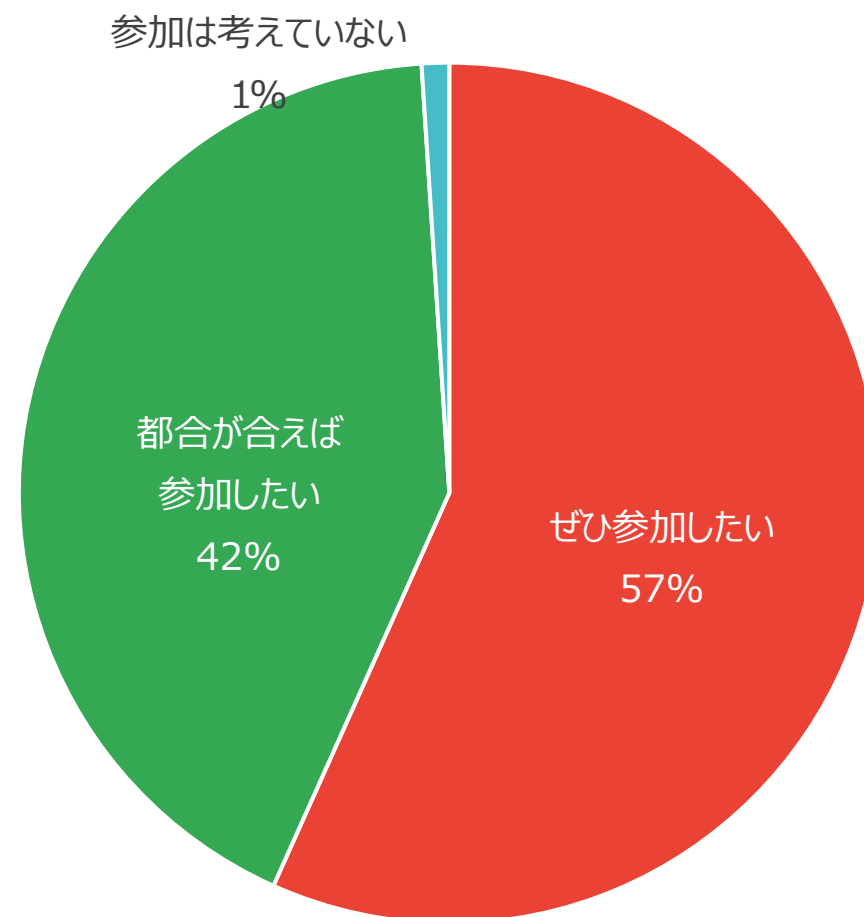
COCORO	1
MUFJネットバンクより	1
医師より	1
院内広報誌	1
患者団体から	1
関係者から	1
循環器アドバイザーからの案内	1
神吉先生から	1
前回案内メール	1
瀧原先生から	1

参加者アンケート結果 in東京 n=97

この健康セミナーの感想をお教えてください

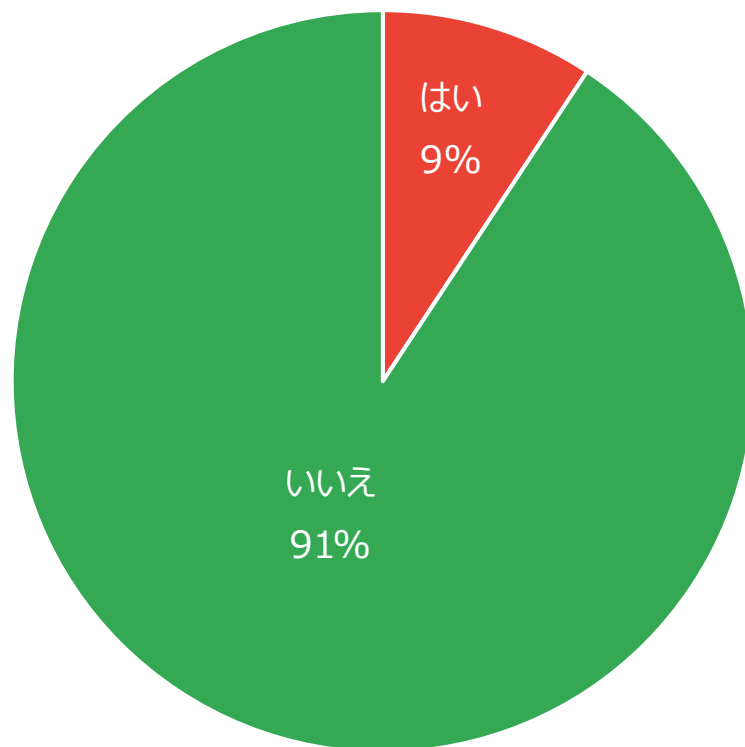


来年もこの健康セミナーに参加したいと思いますか？

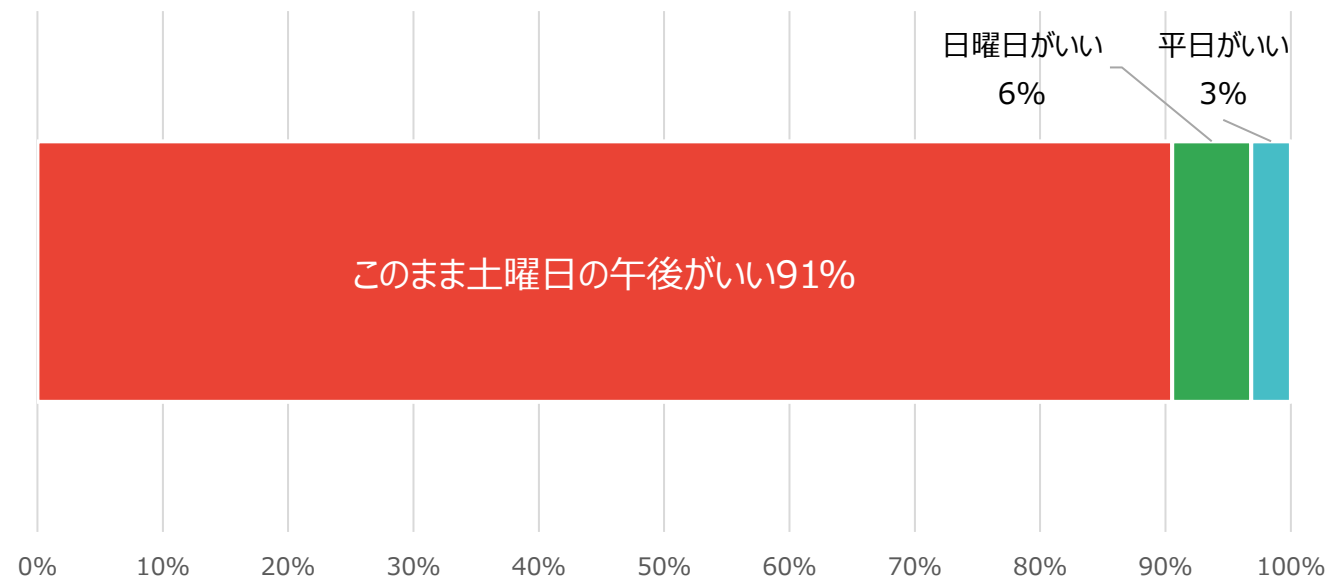


参加者アンケート結果 in東京 n=97

あなたは日本循環器協会の
循環器アドバイザーの方でしょうか？



ご希望の時間帯についてお伺いします



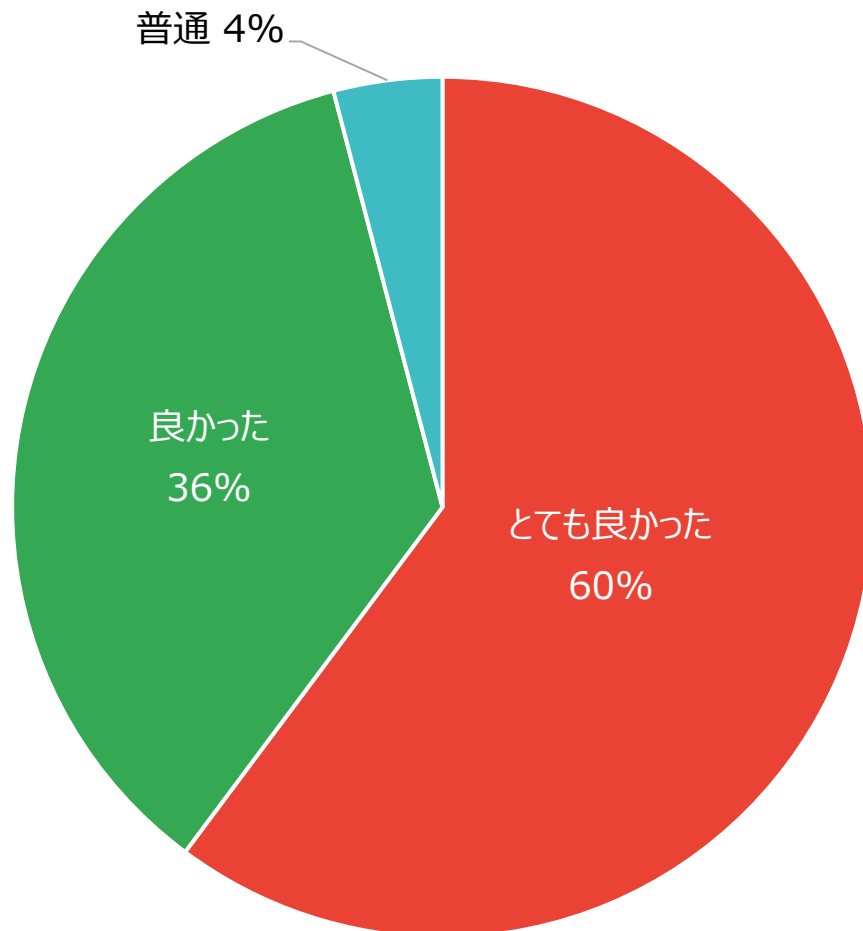
その他のコメント

お昼ごはんをゆっくり食べてからの14時からがよい。
13時でもいいですが、良い席をとろうとして昼抜きでの参加となったため。

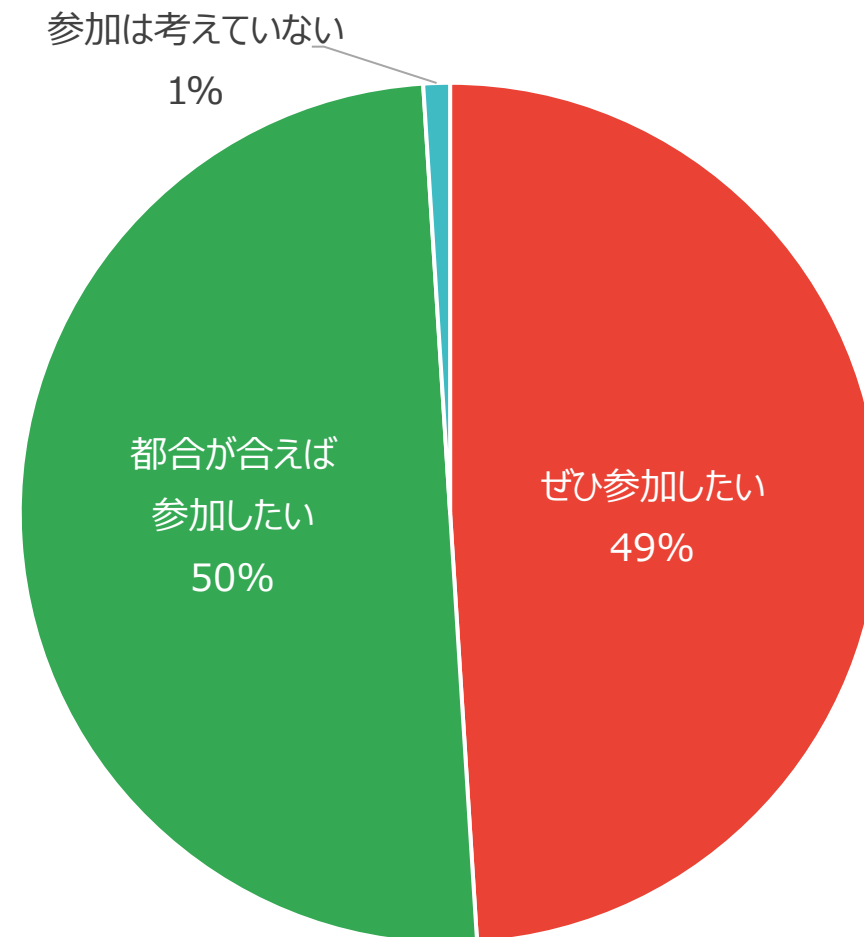
休みの日であれば参加しやすいです

参加者アンケート結果 in大阪 n=100

この健康セミナーの感想をお教えてください

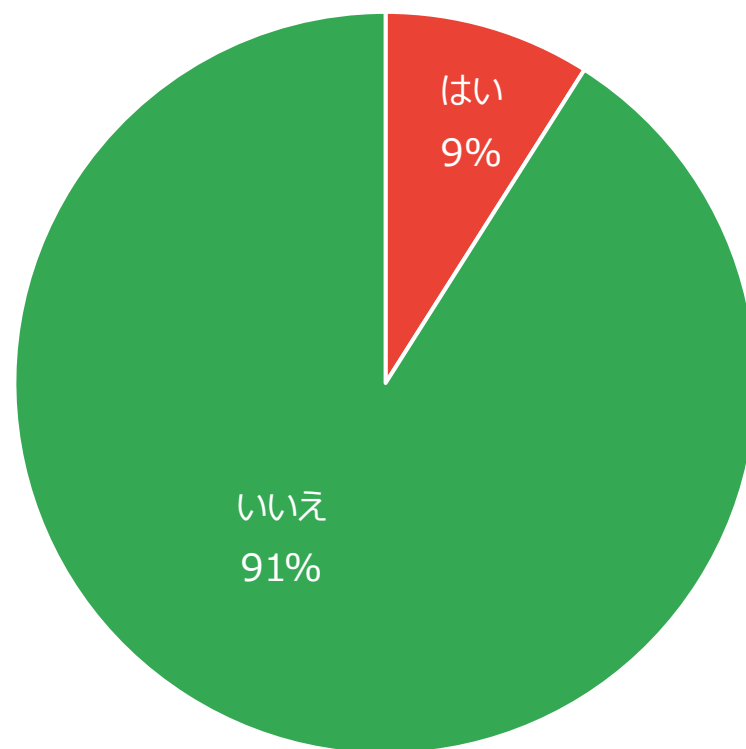


来年もこの健康セミナーに参加したいと思いますか？

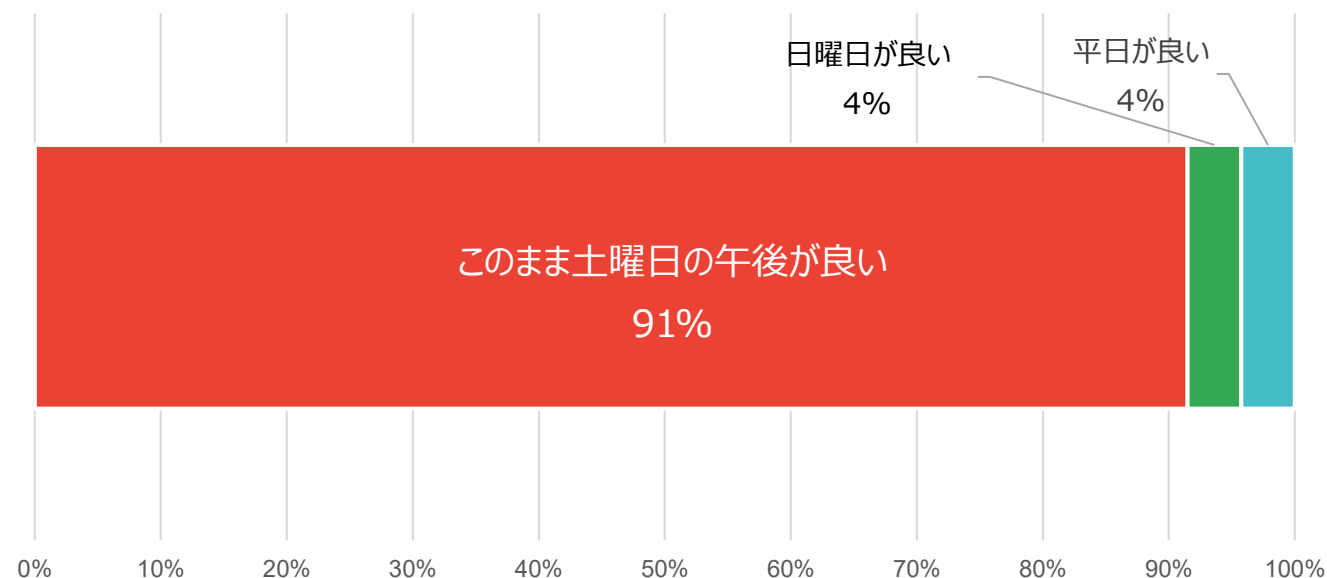


参加者アンケート結果 in大阪 n=100

あなたは日本循環器協会の
循環器アドバイザーの方でしょうか？



ご希望の時間帯について伺います



その他のコメント

いつでもいい

土日祝ならよい

土曜日の午後で、開始時間を14時頃にして欲しい。

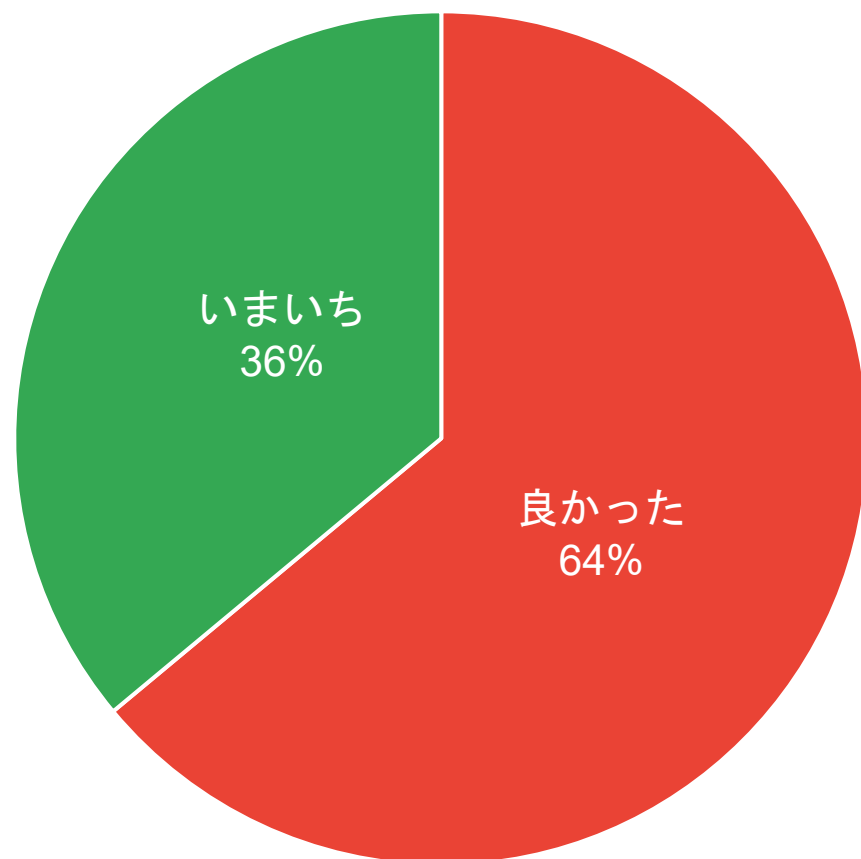
平日は夕方以降、土日祝なら日中で希望

出来れば午後からの開催をお願いします。

平日の夜が良いと思います

参加者アンケート結果 in大阪 n=100

ファッションショーはいかがでしたか？



その他のコメント

スリットドレスはちょっと…？モデルと仲良くなりたい男性向けの企画ですか？コンセプトが不明。

なくても構いません

去年の健康体操のように、健康増進に役立つ内容の方が良かった。に立つ

心臓病セミナーに役立たないファッションショーは不要。去年のようなストレッチ体操の方が役に立つ。

全体に回って頂けたら見易かったかもしれません

端のほうだったので、よく見えなかった

特になにも 心臓関連の何かがある方が良い

年齢に応じた赤いファッション取り入れ方のファッションショーなど

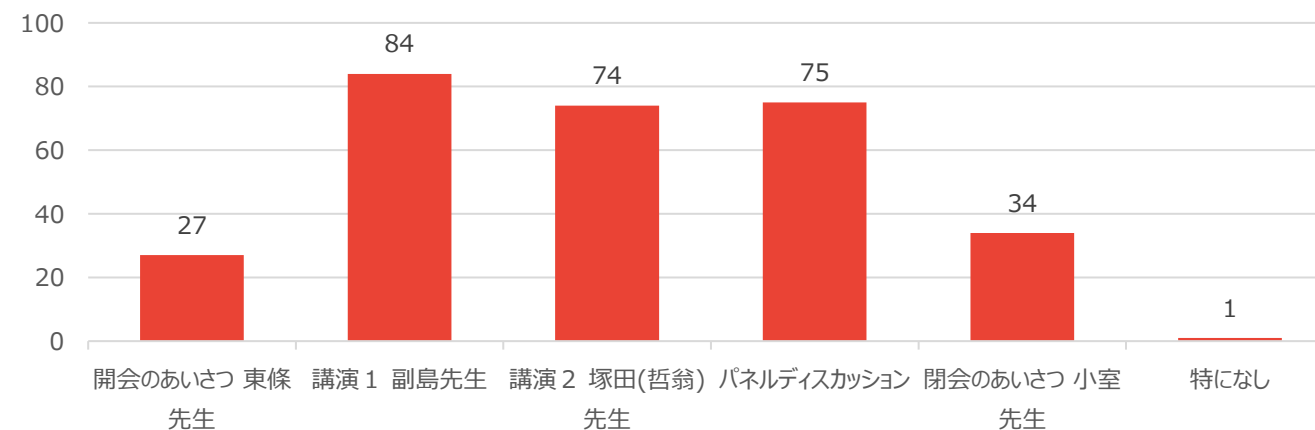
必要ですか？

参加者アンケート結果 参考になったテーマ

in東京

(複数回答)

n=97

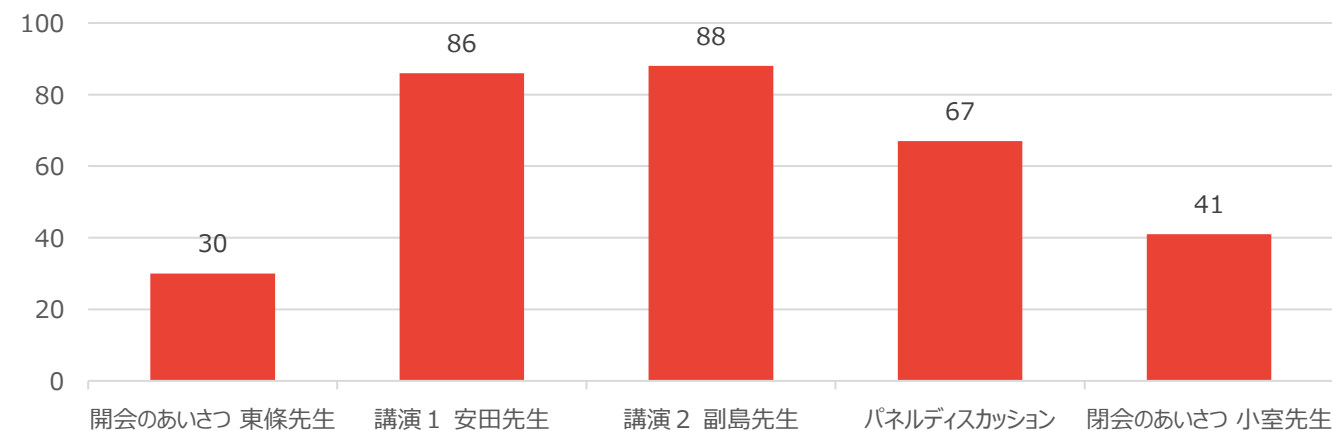


(名)

in大阪

(複数回答)

n=100



(名)

参加者アンケート結果 ぜひ聞きたいテーマ

in東京

心臓に優しい食事 作り方

逆流性食道炎と心臓付近の痛みの違い。実際に病気にかかった人、病院に来た人の自覚症状の症例。

本イベントの趣旨から外れるのかも知れませんが、女性の循環器病に関する環境はどう改善されてきたか、あるいは改善するのはどうしたらいいか
(市民・当事者が出来ることはあるのかも含めて)

循環器病にならないための食事、生活などの最新情報をお願いします。

動脈硬化と心臓病

更年期症状と心臓血管疾患との関連性について

コレステロール、尿酸、カリウム等に気をを使うべき食物の種類や料理法

糖化と酸化について

男性の更年期など

心音

くも膜下、脳梗塞

高血圧、糖尿病、コレステロール

脳動静脈奇形の対処療法と脳卒中の予防

がんと循環器疾患

女性ホルモン補充療法と心臓疾患との関係

微小血管狭心症

病院のかかり方 病院は敷居が高くて怖い 不調程度で行きにくい

しなやかな血管などアンチエイジングに絡めて心臓のことを伝える

便秘

医療者と患者のコミュニケーションのとり方（医療者側が知りたいこと・診察前に患者が準備しておくとい情報）／健康的な体重の増やし方／理想的な食事・おすすめのメニュー（レシピ）

睡眠時無呼吸症候群について

冠攣縮性狭心症、心臓を健康に保つ日常生活の秘訣

認知症やパーキンソン病など脳との関連性

心疾患と妊娠や出産について

不整脈の自覚症状は？

不正脈とスポーツについて

心臓を長く使う為に必要な事

心筋梗塞、もしくはやはり50～60台に多い不整脈など

腫瘍循環器の話題

冠攣縮性狭心症について聴きたい。患者会の方にもお話を聴きたい。実際に働くうえでどんな葛藤があり、どんな協力を受けているのか。

メンタルヘルス、食と健康

健康寿命延伸について、心臓病と他の病気のかかわりについて

参加者アンケート結果 ぜひ聞きたいテーマ

in大阪

ご病気を回復されたようなお話ができればありがたい。思う。

食生活など生活習慣に関しても教えて頂きたいです

ドキドキの種類について

循環器疾患の家族や知人との接し方を学ぶ

今回予防や病気に気づくことについて知ることができた。もうすこし専門的な話、最初の公演で論文の数字を示していたような、最近どんな実情があるのかを知りたい。

心臓病と腎臓病の関係

心臓と肺、心臓と脳について、

(切実な) 泌尿器科系のお話

骨と筋肉、筋、筋膜の関係について。

子宮疾患について

今回、スマートウォッチや家庭用検査機器の紹介があったが、具体的に聞きたい。また、臨床医は、家庭用検査機器を信用しているのかも知りたい

睡眠時無呼吸症候群による心臓への負担 CPAPの治療について

拡張型心筋症

冠攣縮性狭心症について

睡眠の質について

骨粗鬆症

脳梗塞について

婦人科健診・検診について

夏と冬のお風呂の入り方

動脈硬化

実際に思いがけず心臓病になった人の体験談

バセドウ病

認知症

動脈硬化について

心不全について

血圧管理のための食事、他に持病がある場合の運動管理

パラクライン因子についてお伺い出来れば有り難いです。

今回うかがったような、女性特有のサインがあって医療機関を受診しても、見逃されるケースが多い。女性特有の兆候を知らないドクターも多い。

次回は、現場の臨床医や開業医も受講者として参加して欲しい。

骨と筋肉、筋、けんの関係

心の健康など

心筋梗塞の予防のために日頃から心がけること

心因性か病的な動悸か見分け方大人の発達障害者に対するアドバイス

更年期

膠原病

ダイエット、美容

参加者アンケート結果 良かった点、お気づきの点①

in東京

私は男性ですが、母親や妻など周りの女性に伝えたい有用な話が聞けました

具体的な症状や対策を知ることができて良かった。

ほてり、動悸などが心房細動のSOSになるとあらためて知れたこと

前回よりの絞って話がわかりやすかったです。

奥村社長より紹介されて去年に引き続き参加しました。去年もとても素晴らしく今年もとても良かったです。去年もそうでしたが、循環器内科の先生のお話が素晴らしく、本当に来て良かったと思いました。ドクターを探す事が難しい中、この病院にこんなドクターがいると知れたことは大きな収穫です。ドクターの選別が素晴らしいと思います。来年も是非参加したいと思います。

給水の休憩が欲しい

ありがとうございました。多くの学びがありました。このセミナーが心臓病がテーマなのか広く循環器病なのかだんだん分からない状態になってきました。言葉の統一も含めて明確にいただけるとより理解が深まると思います。

心臓病の症状が、男女差があることを知れたことは良かったです。

全て分かりやすく説明いただきました！

今回のお話はとてもわかりやすかったです。

クイズ形式での進行や対談を通じて、自分事としてとらえることが出来ました。ありがとうございました。

共に参加した妻(51歳)に情報を直接インプットできた。

パネルディスカッションでの先生たちの言葉

プラス10分！

事前に質問を受け付けて当日回答して頂けるやり方が、効率的で良いと思った。

心房細動の自覚症状に男女差があること。デバイスを利用して脈の異常を確認することが有用であること。

健診で加齢による不完全右脚ブロックが見られると指摘を受け、心臓病に関して知識がなかったので参加しました。新しい情報を得られて良かったです。ありがとうございました。

杉山愛さんのコメントが良かったです。

病院受診の時、日々の記録を持参すると正確な診断がしやすくなる。また、日々観察する事で「なんか変」を感じやすくなる。

高血圧も心疾患になる要因の一つであること。

高血圧が心疾患の要因の一つになること。

日頃、気になっていた症状についての解説があって非常に参考になった。

小室先生の昨年度のシニアチアが出てパフォーマンスをした場面をヒヤヒヤしたと感想を述べたのは非常に失礼だと思いました。イキイキ活動しているシニアチアの方も今回参加されていたので、残念でした。表現をもっと工夫された方がいいと思います。

女性特有の循環器疾患の特徴や日常生活の注意点などが分かりやすく講演して頂きました。

各スポンサーが何にどう取り組んでいるのか具体的にお聞きしたかったです

ディスカッションパートが楽しかった

日本循環器協会の循環器エキスパート資格の紹介をしていただき、大変興味を持ちました

先生方の説明には説得力がありとても参考になった。早期のうちに発見することが治療の長期化を防ぐことは理解できました。そのために日常で何を心がけることも、学びました。次回は治療には費用もかかると思いますので、最新の治療内容や具体的な治療費等も教えていただきたいです。

副島先生の心房細動の話は分かりやすく面白かった。

パネルディスカッションの質問は、自分も聞きたい質問で良かった

参加者アンケート結果 良かった点、お気づきの点②

in東京

小室先生のご講義を楽しみに毎年参加しています

Qなど参加できた点が良かった。もう少し、NHK『あしたが変わるトリセツショー』など、なるほど！と思う内容があった方が、来場してお得！良かった！と思える

自分の体について不安なことがあり、今回のセミナーで日々の過ごし方について大変参考になりました。

心疾患の性差について理解できました

クイズ形式の一問一答

過度に怖がらせることなく、病の兆候や予防、受診の大切さを知ることができて、とてもためになりました。

特にありません

小室様の閉会の挨拶が気になりました。前回開催のシニアアを少し小馬鹿にしたような言い方(「見ていてヒヤヒヤした」等)や、杉山愛さんへの発言(「テニスウェアを着てる姿も素敵」)等時代に合わない発言が多いように感じました。ご本人にこういったネガティブな感想を届けるのは難しいかもしれませんが、他のセミナー内容がよかっただけに最後の最後で残念です。また、運営の方の赤いマスクは不気味なので無くてもいいと思います。

更年期や高齢の女性として、気をつけなければいけない循環器疾患や、心房細動について、女性という観点からみた病態や症状についてわかりやすく説明いただき大変勉強になりました。

日本人の心臓疾患に対するリテラシーが低いということ、またそれは症状の自覚の難しさなどの要因があることもわかりました。当日は具体的な生活の中にかせる内容もあり大変参考になりました。

資料が欲しかった

中高年女性を対象とした見逃されがちな兆候に注意すべき点をご教示頂けたのが、とても勉強になりました。

病院用語？も感じず??わかりやすい時間でした

今回は心臓病のサインを見逃さない、心臓病ならない為の生活がお話の中心でしたが、心臓病に鳴ってしまった場合の生活におけ気をつける点等のお話もあるとより良かったと思います。

更年期症状とのちがい、日常生活のケアなど現場の先生方のお話を拝聴できて良かったです、

内容のわかりやすさ

資料

分かりやすかった。スマートウォッチやリング装着が1番のお勧めとの印象。

皆さんの説明が分かりやすく、理解が進みました。

女性を入口にしての講演でしたが、男性でもとても参考になり、わかりやすかった。

更年期と似ていて、見逃しやすいこと・わかりにくいこと。また、脳梗塞を引き起こす要因になること。

パネルディスカッションがわかりやすく楽しかった

パネルディスカッションの運営と内容が素晴らしく印象に残りました

不整脈について勉強になったことで、今回は叶わなかったのですが次回は母も一緒に参加したいと思いました。

先生方のお話が、簡単すぎず難しすぎず、丁寧だったことです

参加者アンケート結果 良かった点、お気づきの点①

in大阪

自分が最近病気になったため、身近な病気を知っておいたほうがいい。また安心できたこともあった。

企業ブースなど関連コーナーも興味深く拝見しました

ふだんの様子に気をつける動機づけに、なりました

最近良くある、心臓病医の生活習慣や、食事などのお話があれば

女性の下着が及ぼす影響についてコメントがあれば良かった

毎日の健康記録が大切だと認識したこと

心電図測定機のデモ

一般人にもわかる言葉で、目線を合わせてお話しいただき、循環器の先生を身近に感じたこと。

当事者の質問に答えて頂けるのが非常に嬉しく参考になった。

赤を纏うと女性は輝くことを改めて感じました

女性の心臓病の特徴を知ることができて、良かったです。

少し会場が寒く感じました

現場の実例を知ることが出来たこと。

どの司会な方も、皆さん大変上手いと感じました。

綺麗でした！

心臓疾患が女性に多いことが分かり勉強になりました

昨年よりも、内容もテーマも良かった。昨年はゲストの澤穂希さんを立てようとしすぎて、進行がいびつで見苦しかったし、澤穂希さんからは役立つ内容も聞けなかった。客寄せパンダみたいで澤穂希さんが気の毒でした

講師のお話がとても理解しやすかった。パネルディスカッションも自分の身に振り返る事が出来、良かった。

副島先生のお話し分かりやすさく良かったです

出演者皆様のお話がわかりやすくて、ユーモアもあり、学びとともに楽しい時間でした。岸先生は冒頭遅れて行ったので、先生とは知らず、司会業務の方々思いました。荷物を入れる透明袋は、環境に良くないので不要だと思いました。

女性で増えている循環器疾患は予防に重点を置くことの大切さに気付きがあり、今後の生活の仕方を考えるきっかけになりました

女性ならではの心臓病があるということを初めて知ったことがとても良かったです

今回は午前中仕事だったため、途中参加となったので、開始から参加できなかったのが、残念

最後の先生方が質問に対して返答されるセッションは身近でとても良く、様々な方の意見を聞けて良かったです。

参加者アンケート結果 良かった点、お気づきの点②

in大阪

オンラインで同時開催をしていただきたいです。

ドクターの実在の患者さんの例がリアルで話をしっかり聞く事が出来ました。

明るく楽しい雰囲気でした。

わかりやすく説明していただきました。

検脈の必要性に触れた事。運動強度についてはもう少し具体的に言わないと、基礎代謝が落ちてからしんどくても負荷をかけるように言われたし、と頑張りすぎる方が出そうで少し怖かったです。

アップルウォッチの活用についての話がすごく興味を惹かれました。

年齢とともに、不安が大きくなっていたのでとても安心しました。医療機関に行きやすくなりました

今気になっている症状について詳しく話を聞くことができて、大変参考になった。

暖房が効きすぎに感じた

患者の会の参加は良い事です

ファッションショーについて。座席側に降りてきた際に、低い位置なので見えづらい場所もあり。会場内を1周出来たら良かったです。/会場やゲストが東京会場と差があるように感じました。

質疑に関しても、事前の質問からとても興味深い質問から先生方のお答えでとても楽しくお話が聴けました。

荷物置きスペースを作って欲しかったです。

有名人ゲストがいなかったのが、とても良かった。昨年は、ゲストの澤穂希さんに気を遣って、司会者がやたらと澤さんに発言を求めて、見苦しかった。セミナー受講者は、専門家の話を聴講に来ているのであって、有名人の世間話を聞きに来ているわけではない。

男性と女性で症状の出方が異なる事をはじめて知りましたので勉強になりました。

女性特有の心筋梗塞の症状等について興味があったので面白かったです。こういう事に詳しくてちゃんに対応してくれる開業医や病院の情報を纏めて公表して欲しいです。後、親族が2人(女)心房細動からの血栓で脳梗塞を起こしてかなり大変な事になったので、こちらの危険性についても言及してもらえると有難いです。

お話しの内容がわかりやすかった。

オムロンの展示コーナーが実際に触れてよかったです。

内容がわかりやすい、身近に感じた

身近な病気ですので、知っていた内容であった。

診察時ではないときのお医者様の素顔に接することができたこと

講義内容の資料がほしかったです

心臓の専門家のお話を聞ける貴重な機会でした

スポンサーからのお土産も頂き良かったです。

大阪会場に参加しました

昨年は、ゲストに気を遣って、パネルディスカッションが上手く進行せず、とても見苦しかったが、今年はゲストがいなくて良かった。第一部と第二部の合間に、ファッションショーがあったが、昨年のようにストレッチ体操の方が、日常生活にも役立つし、あの場でのリフレッシュにもよかったので、来年は体操が良い。

参加者アンケート 抜粋

○ 肯定コメント △否定的コメント

in東京

プログラム	○	日本人の心臓疾患に対するリテラシーが低いということ、またそれは症状の自覚の難しさなどの要因があることもわかりました。当日は具体的な生活の中にいかせる内容もあり大変参考になりました。	など 34件
	△	ありがとうございました。多くの学びがありました。このセミナーが心臓病がテーマなのか広く循環器病なのかだんだん分からない状態になってきました。言葉の統一も含めて明確にしていただけるとより理解が深まると思います。	など3 件
パネルディス カッション	○	クイズ形式での進行や対談を通じて、自分事としてとらえることが出来ました。ありがとうございました。	など7 件
	△	Qなど参加できた点が良かった。もう少し、NHK『あしたが変わるトリセツショー』など、なるほど！と思う内容があった方が、来場してお得！良かった！と思える	など1 件
心房細動	○	更年期や高齢の女性として、気をつけなければいけない循環器疾患や、心房細動について、女性という観点からみた病態や症状についてわかりやすく説明いただき大変勉強になりました。	など4 件
運営	○	事前に質問を受け付けて当日回答して頂けるやり方が、効率的で良いと思った。	など1 件
	△	給水の休憩が欲しい	など5 件

別添詳細データをご確認ください

参加者アンケート 抜粋

○ 肯定コメント △否定的コメント

in大阪

プログラム	○	男性と女性で症状の出方が異なる事をはじめて知りましたので勉強になりました。	など 33件
	△	女性特有の心筋梗塞の症状等について興味があったので面白かったです。こういう事に詳しくてちゃんと対応してくれる開業医や病院の情報を纏めて公表して欲しいです。後、親族が2人(女)心房細動からの血栓で脳梗塞を起こしてかなり大変な事になったので、こちらの危険性についても言及してもらえると有難いです。	など4 件
パネルディス カッション	○	最後の先生方が質問に対して返答されるセッションは身近でとても良く、様々な方の意見を聞いて良かったです。	など3 件
展示	○	企業ブースなど関連コーナーも興味深く拝見しました	など3 件
会場・運営	△	出演者皆様のお話がわかりやすく、ユーモアもあり、学びとともに楽しい時間でした。岸先生は冒頭遅れて行ったので、先生とは知らず、司会業務の方々思いました。荷物を入れる透明袋は、環境に良くないので不要だと思いました。	など8 件

収支報告

収入	予算	結果
1.スポンサー・寄付	8,700,000	11,999,000
スポンサー	7,700,000	11,000,000
寄付	1,000,000	999,000
支出		
1.事前準備関係費	3,370,000	4,841,676
各種制作費	1,190,000	1,170,015
参加登録関係費	340,000	337,491
広報費	100,000	1,647,870
事務局費	210,000	415,800
登壇者調整費	660,000	577,500
スポンサー調整費	870,000	693,000
2.当日運営関係費	5,330,000	7,157,324
会場費	820,000	1,096,996
会場設備費	150,000	193,231
運営人件費	1,770,000	2,380,351
映像機材費	580,000	579,117
運営資材費	690,000	1,401,939
動画関係費	150,000	448,140
演者関係費	1,170,000	1,057,550
合計	8,700,000	11,999,000

(円 税込み)